

健康社会研究センター ニュースレター 第 21 号

2012. 04. 06 発行

◆ 目次 ◆

- 1 CWSからのお知らせ
- 2 主な研究成果発表
- 3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ
- 4 その他お知らせ

1 CWSからのお知らせ

①新メンバー着任のお知らせ

2012年4月より、新しい研究員2名が着任いたしましたので、ご挨拶申し上げます。

主任研究員の三澤は、昨年度をもってセンターを退職し、今年度より立教大学社会学部へ着任いたしました。

・中川 雅貴 (なかがわ まさたか)

今年度より日本福祉大学健康社会研究センターにポスドク研究員として着任いたしました中川雅貴と申します。

この3月までは、早稲田大学人間科学部で助手として勤務しておりました。専攻は社会人口学で、これまで、定住外国人に関するフィールド調査研究を実施したり、国際比較パネル調査プロジェクトに参加して高齢者の居住形態と世代間関係に関する研究などを行ってきました。また、標本抽出法を用いた社会調査の実施、とくにパネル調査の設計や分析に関する方法論的な関心もあります。

このたび、縁あって、事務局メンバーとして AGES プロジェクトに参加させていただけることを、大変光栄に思います。私自身、社会疫学分野の勉強はまだ始めたばかりですが、研究の面でも一日でも早くプロジェクトに貢献させていただけるように努力いたします。とくに、これまでの研究関心を発展させ、高齢期における家族・世代間関係と幸福度や健康といった Well-being の関係についての研究をすすめたいと考えています。

ご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

・伊藤 大介 (いとう だいすけ)

今年度から日本福祉大学健康社会研究センターでお世話になります、研究員の伊藤大介と申します。

本年3月に日本福祉大学院 医療・福祉マネジメント研究科の修士課程を修了しました。大学院では近藤克則教授のもとで学び、修士論文は若年認知症ケアにおける専門施設と非専門施設（高齢者施設）の相互補完性について検討しました。前職では、補助事業を除くと（その事業も本年3月で終了したそうです）当時愛知県内唯一（と関係者の方から聞いております）の若年認知症専門デイサービスの立ち上げ、管理者（施設長）を務めるなどしておりました。研究の経験は乏しいですが、研究会の中で学びながら知識や技術も身につけていきたいと考えております。

未熟者ではございますが、ご指導の程宜しくお願い致します。

②WHO の website の中で健康社会研究センターが紹介されました。

WHO 神戸センター (WKC) との共同研究プロジェクト (J-AGES HEART) について

http://www.who.int/kobe_centre/ageing/j_ages_heart/en/index.html

日本語はこちらから↓

http://www.who.int/kobe_centre/ageing/j_ages_heart/ja/index.html

2 主な研究成果発表

<論文>

- ① Tatsuo Yamamoto, Katsunori Kondo, Hiroshi Hirai, Miyo Nakade, Jun Aida, Yukio Hirata : Association Between Self-Reported Dental Health Status and Onset of Dementia: Aichi Gerontological Evaluation Study Project 4-Year Prospective Cohort Study of Older Japanese Adults. Psychosom Med PSY. 2012. 3. 9 doi:10.1097/PSY.0b013e318246dfffb
- ② 近藤克則：リハビリテーション患者データベースの二次分析－プロセス，可能性と限界－. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine49 (3) : 142-148, 2012. 3
- ③ 近藤克則：データ・マネジメント・システムの概要と課題 シンポジウム「データベースマネジメント」.(第48回医日本リハビリテーション医学会学術集会シンポジウム) The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine49 (2) : 73-78, 2012. 2
- ④ 近藤克則：こころの健康の社会的決定要因と自殺対策－J-AGES/ベンチマークをもとに. 秋田県公衆衛生学雑誌9 (1) : 3-10, 2011. 12.
- ⑤ 近藤克則, 芦田登代, 平井寛, 三澤仁平, 鈴木佳代：高齢者における所得・教育年数別の死亡・要介護認定率とその性差－AGES プロジェクト縦断研究－. 医療と社会, 印刷中
- ⑥ 近藤尚己, 近藤克則, 横道洋司, 山縣然太郎：高齢者における所得の相対的剥奪と死亡リスク－AGES 追跡研究－. 医療と社会, 印刷中

<講演>

- ① 近藤克則：講演「健康の社会的決定要因－介護予防における地域格差を中心に」, 第21回 地域保健医療福祉活動研究会：健康支援環境への変革の処方箋 ～個別対応のみでは八方ふさがり！！健康支援環境づくりへの思考転換～, リーセントカルチャーホテル (岡山), 2012. 3. 16

3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1) フォーラムのお知らせ

【日時】2012年4月7日(土) 14:00-16:30

【場所】ラッセホール(兵庫県神戸市)

【主催】WHO 神戸センター・WHO 神戸センター協力委員会

【内容】World Health Day 2012 記念フォーラム

『健康な高齢社会を目指して～世界最長寿国日本の軌跡と今後の展望』

第一部：高齢化と健康に関する行内外の動向

日本の高齢化対策と国際的リーダーシップについて

武井貞治(厚生労働省大臣官房国際課国際協力室室長)

WHOの関連取り組み紹介

狩野恵美(WHO神戸センターテクニカル・オフィサー)

第二部：今後のビジョンとその実現に向けて必要な取り組み

パネル発表

辻哲夫(東京大学高齢者総合研究機構特任教授)

鈴木隆雄(国立長寿医療研究センター所長)

近藤克則(日本福祉大学健康社会研究センター長)

坂東真理子(昭和女子大学学長)

パネルディスカッション

モデレーター：家森幸男(武蔵川女子大学国際健康開発研究所所長)

詳細はこちら→ http://mihama-w3.n-fukushi.ac.jp/ins/kkondo/pdf/Flyer_WHD_2012_web.pdf

2) 講演のお知らせ

① 琉球大学地域医療部 40 周年記念シンポジウム

【日時】 2012 年 4 月 22 日 (日) 10:00~12:20

【場所】 沖縄県医師会館

【主催】 琉球大学医学部附属病院地域医療部

【内容】 シンポジウム 「地域医療部の過去・現在・未来」

等々力英美 (琉球大学衛生学・公衆衛生学講座)

鈴木信 (琉球大学名誉教授・地域医療部第二代部長)

大屋祐輔 (地域医療部長)

特別講演「地域医療と介護のゆくえ」

近藤克則 (日本福祉大学・社会福祉学部教授)

② 「日本の医療を守る市民の会」 第 45 回勉強会

【日時】 平成 24 年 4 月 24 日 (火) 18:30~20:30

【場所】 中野サンプラザ

【講演】 近藤克則：医療の「見える化」で国民的合意形成を

～医療崩壊からの再生途上にある英国に学ぶ～

3) 介護予防 WG (JAGES)・AGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。

・ 4 月研究会

【日 時】 4 月 14 日 (土) 10:00~

【場 所】 国立社会保障・人口問題研究所

・ 5 月研究会

【日 時】 5 月 12 日 (土) 10:30~

【場 所】 日本福祉大学名古屋キャンパス

・ 6 月研究会

【日 時】 6 月 24 日 (日) 10:30~

【場 所】 日本福祉大学名古屋キャンパス

・ 7 月研究会候補日：1 日 or 8 日 or 14 日 or 15 日

・ 8 月研究会

JAGES 研究会 8 月 3 日 (金)

国際シンポジウム 8 月 4 日 (土)

4 その他お知らせ (AGES メンバーからご提供いただいた情報です)

- ・ 日本 NPO 学会林雄二郎賞を受賞しました。

埴淵知哉：『NGO・NPO の地理学』。明石書店, 2011. 8

詳細はこちら→ <http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/janpora/award/gakkai shoannai.htm>

ニューズレター第 21 号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら <k-manami@n-fukushi.ac.jp

(泉) > までお知らせください (ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら <[バックナンバー](#)>

日本福祉大学
健康社会研究センター
<http://cws.umin.jp/>



名古屋市中区千代田 5 - 22 - 35
名古屋キャンパス北館 7 階
[Tel:052-242-3074](tel:052-242-3074)
Fax:052-242-3076

発行元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)及び、『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向(2011年12月23日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012年1月8日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。